

日本史 $\frac{1}{14}$

第1問 原始・古代から近代・現代までの法制や女性の地位について述べた次の文を読み、下の空欄
□ 1 □ ~ □ 10 □ に適語を記せ。

「魏志」倭人伝によれば、邪馬台国の女王卑弥呼は「□ 1 □ を事とし、能く衆を惑はす」とあり、呪術による政治を行っていたとされる。古墳時代の政治的決定は、鹿の骨を火で焼き、そのひび割れ具合により吉凶を占う □ 2 □ の法によって行われ、成文法は存在しなかった。

『日本書紀』によれば、最初の成文法は、厩戸王（聖徳太子）が仏教や儒教などの思想を取り入れてつくった □ 3 □ であるといわれている。推古天皇の時代には、遣隋使とともに留学生・学問僧が中国に派遣されて政治制度や文化などが伝えられた。その後、大化改新を経て、中央集権的国家体制が形成された。701年、□ 4 □ と刑部親王らによって大宝律令が完成し、718年には養老律令もつくられた。

このように、日本の律令は中国から導入されたものであるが、日本国内の実情にあわせて改めた部分もあった。例えば、田令には以下のような規定がある。

凡そ口分田給はむことは、男に二段。女は三分が一減せよ。五年以下には給はず。

女性に与えられる口分田は男性の3分の2であるが、女性には租以外の税がかからなかったため、農民のあいだでは □ 5 □ により負担を忌避することが横行した。

平安時代になると、政府は政務の運営を円滑に行えるよう、律令を補足・修正した格や、施行細則である式を整理して、三代格式を編纂した。また、令の解釈を公式に統一した『□ 6 □』をつくった。

鎌倉幕府は、武士の土地支配が進展するにつれて各地で起こった所領紛争を解決するために、公平な裁判を行うための基準を明確にする必要に迫られた。そこで、1232年に □ 7 □ を制定した。例えば第23条は以下の通りである。

一 女人養子の事

右、法意の如くばこれを許さずと雖も、大将家御時以来当世に至るまで、其の子無きの女人等、所領を養子に譲り与ふる事、不易の法勝計すべからず。加之、都鄙の例先蹤惟れ多し。評議の処尤も信用に足るか。

この内容から、鎌倉時代の武家社会では公家社会やのちの時代の武家社会とは異なり、女性の地位が比較的高かったことがわかる。室町幕府においても □ 7 □ が基本法典として機能し、以後も武家法の基準となった。

戦国時代には、戦国大名の中に領国支配の基本法として分国法を制定するものもいた。以下に示す史料は、駿河・遠江の戦国大名の分国法である『□ 8 □』の一部である。

日本史 $\frac{2}{14}$

一 駿・遠両国の輩，或わたくしとして他国よりよめを取，或ハむこに取，むすめをつかハす事，自今以後これを停止し畢んぬ。

これは私婚を禁じる内容であるが，このことから戦国時代には女性が政略結婚に利用されたことがうかがえる。

江戸時代には，幕府が大名・朝廷や公家・寺社・農民などを統制するために様々な法令を出した。徳川吉宗は法制の整備をすすめ，裁判や刑罰の基準となる 9 を編纂させた。また，幕府の触れを集めた御触書寛保集成が編纂され，その後数回御触書集成が編まれた。当時の人々は男尊女卑の封建道徳のもとにあった。貝原益軒の『和俗童子訓』では，「父の家にありては父にしたがひ，夫の家にゆきては夫にしたがひ，夫死しては子にしたがふを三従といふ」という女子三従の教えが説かれた。

明治政府は，欧米列強と肩を並べるために近代的な法体系を実現しようとして，お雇い外国人を招き諸法典の制定を急いだ。当初はフランス流の法律が導入されたが，国家主義台頭の風潮が高まるにつれ，しだいにドイツ流の法律に変わっていった。穂積八東らは，フランス人の法学者 10 が起草した民法に対して，日本の伝統的な家族道徳が破壊されると厳しく批判し，戸主権の強い民法に変更することを求めた。

第二次世界大戦後，日本国憲法の精神に基づいて1947年に民法が改正され，家中心の戸主制度が廃止されて，男女同権の新しい家族制度が定められた。

日 本 史 $\frac{3}{14}$

第2問 8世紀～12世紀の次の年表をみて、下の問い（問1～10）に答えよ。

年代	おもな出来事
743	左大臣 1 の時、墾田永年私財法が制定される
784	a 桓武天皇が長岡京に遷都する
802	征夷大将軍坂上田村麻呂が〈 甲 〉を築く
838	円仁が b 遣唐使の一行とともに入唐する
887	c 藤原基経が関白の勅書を受ける
901	d 延喜の治が行われる
939～941	e 承平・天慶の乱が起こる
985	源信が『 2 』を著す
1019	f 女真人が対馬・壱岐・九州北部に來襲する
1052	g 末法初年とされる
1083～1087	h 後三年合戦が起こる
1159	平治の乱が起こる
1180	平清盛が〈 乙 〉の修築を勅許される

問1 空欄 1 2 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- | | |
|---------------------|------------------|
| (ア) 1 橘諸兄 2 日本往生極楽記 | (イ) 1 橘諸兄 2 往生要集 |
| (ウ) 1 長屋王 2 日本往生極楽記 | (エ) 1 長屋王 2 往生要集 |

日本史 $\frac{4}{14}$

問2 空欄〈甲〉〈乙〉に入る語句は次の地図上 a～d のどこに該当するか、正しいものの組合せを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。



- (ア) 甲 - a 乙 - c (イ) 甲 - a 乙 - d
(ウ) 甲 - b 乙 - c (エ) 甲 - b 乙 - d

問3 下線部㉑について、桓武天皇の政治に関して述べた文として誤っているものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) 地方政治の刷新のために、勘解由使を設置した。
(イ) 平城太上天皇の変に際して、藤原冬嗣らを蔵人頭に任命した。
(ウ) 九州や東北を除き軍団と兵士とを廃止し、健児を採用した。
(エ) 公民の負担を軽減するため、雑徭の期間を半減した。

問4 下線部㉒について、この838年の遣唐使の後に実際に派遣された遣唐使の回数は何回か、答えよ。

問5 下線部㉓について、この時に起こった藤原基経がその政治的地位を不動のものとした出来事は何か、答えよ。

日本史 $\frac{5}{14}$

問6 下線部㉑について、この時期の出来事や政策について述べた文として誤っているものを、次の

- (ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。
- (ア) 最初の勅撰和歌集である『古今和歌集』が編まれた。
(イ) 藤原時平の策謀により、菅原道真が大宰府に左遷された。
(ウ) 勅旨田などを禁止する荘園整理令が出された。
(エ) 三善清行が宇多天皇に「意見封事十二箇条」を提出した。

問7 下線部㉒について、反乱者と鎮定者の組合せとして誤っているものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) 平将門－藤原秀郷 (イ) 平将門－平重盛
(ウ) 藤原純友－小野好古 (エ) 藤原純友－源経基

問8 下線部㉓について、この事件名は何か、答えよ。

問9 下線部㉔について、この頃に藤原氏により建立された阿弥陀堂は何か、漢字6文字で答えよ。

問10 下線部㉕について、この前後の出来事について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の(ア)～(カ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- Ⅰ 白河天皇が堀河天皇に譲位した。
Ⅱ 平忠常の乱を源頼信が鎮定した。
Ⅲ 藤原清衡が中尊寺金色堂を建立した。
- (ア) Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ (イ) Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ (ウ) Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ
(エ) Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ (オ) Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ (カ) Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

日本史 $\frac{6}{14}$

第3問 原始・古代から近代・現代の政治・外交・経済・文化に関する下の問い（問1～10）に答えよ。

問1 奈良時代と平安時代の文化について述べた文として正しいものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) 聖武天皇は、『風土記』の撰進を命じた。
- (イ) 唐招提寺の鑑真像は、写実的な塑像である。
- (ウ) 神仏習合を反映して、薬師寺僧形八幡神像が作られた。
- (エ) 『陸奥話記』は、最初の軍記物語である。

問2 鎌倉時代の政治について述べた次のa～dについて、正しいものの組合せを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- a 北条義時は和田義盛を滅ぼし、政所と侍所の別当を兼任した。
 - b 承久の乱の結果、北条泰時が執権を補佐する連署となった。
 - c 北条時頼は、評定衆の設置と同時に裁判の迅速化のために引付を置いた。
 - d 蒙古襲来に備えて、北条時宗は九州地方の御家人に異国警固番役を命じた。
- (ア) a・c (イ) a・d (ウ) b・c (エ) b・d

問3 足利義満について述べた文として誤っているものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) 南朝の後亀山天皇を説得し、南北朝の合体を実現した。
- (イ) 大和猿楽四座のうちの観世座に出た観阿弥・世阿弥を保護した。
- (ウ) 後醍醐天皇の冥福を祈るために寺院を建立しようと、明に天龍寺船を派遣した。
- (エ) 有力守護の大内義弘を応永年間に堺で討伐した。

問4 中世の文化について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の(ア)～(カ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- Ⅰ 如拙は水墨画をよくし、禅の公案を図示した『瓢鮎図』を描いた。
 - Ⅱ 北畠親房は、史書『神皇正統記』や有職故実書『職原抄』を著した。
 - Ⅲ 金沢実時は、和漢の書物を集めた金沢文庫を設立した。
- (ア) Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ (イ) Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ (ウ) Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ
(エ) Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ (オ) Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ (カ) Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

日本史 $\frac{7}{14}$

問5 織豊政権の時代について述べた文として誤っているものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) 織田信長は、長篠合戦で鉄砲を大量に用いた戦法で、武田勝頼軍に大勝した。
- (イ) 豊臣秀吉は、伏見城に後水尾天皇を迎えて、諸大名に関白秀吉への忠誠を誓わせた。
- (ウ) 豊臣秀吉は、バテレン追放令を出して宣教師の国外追放を命じたが、南蛮貿易は奨励した。
- (エ) 豊臣秀吉は、肥前の名護屋に本陣を置き、朝鮮侵略を進めた。

問6 江戸幕府の将軍について述べた次のa～dについて、正しいものの組合せを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- a 徳川家光は、武家諸法度（寛永令）により参勤交代を制度化した。
 - b 徳川家綱は、武家諸法度（天和令）で「文武忠孝を励し」とし文治主義を掲げた。
 - c 徳川家継は、田沼意次を側用人から老中に抜擢して、幕府財政を再建させた。
 - d 徳川家斉は、50年間将軍をつとめ、退いた後も大御所として実権を握った。
- (ア) a・c (イ) a・d (ウ) b・c (エ) b・d

問7 江戸時代の文化について述べた文として誤っているものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) 浮世絵版画は菱川師宣が創始し、尾形光琳は華麗な装飾画を完成した。
- (イ) 洒落本『仕懸文庫』を書いた山東京伝は、寛政の改革で処罰された。
- (ウ) 塙保己一は、幕府の援助で和学講談所を設け、『群書類従』を編修した。
- (エ) シーボルトは、長崎に鳴滝塾を開き、福沢諭吉などを教えた。

問8 近代の社会・経済について述べた次のa～dについて、正しいものの組合せを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- a 渋沢栄一らが設立した大阪紡績会社はイギリス製紡績機械による大規模経営に成功した。
 - b 綿糸の機械制生産が急増し、日露戦争後には輸出量が輸入量を上回った。
 - c 官営事業の払下げが盛んになり、三池炭鉱は三井に払い下げられた。
 - d 第1次桂太郎内閣は鉄道国有法を公布し、民営鉄道を買収して国有化した。
- (ア) a・c (イ) a・d (ウ) b・c (エ) b・d

日 本 史 $\frac{8}{14}$

問9 近代における社会運動について述べた次のa～dについて、正しいものの組合せを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- a 片岡健吉を中心とする三大事件建白運動は、治安警察法で弾圧された。
- b 高野房太郎・片山潜らが労働組合期成会をつくり、労働組合の結成を進めた。
- c 鈴木文治が組織した友愛会は、日本労働総同盟と改めて労資協調主義へ転換した。
- d 杉山元治郎・賀川豊彦らが日本農民組合を結成して、小作争議を指導した。

(ア) a・c (イ) a・d (ウ) b・c (エ) b・d

問10 近代・現代の生活文化について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の(ア)～(カ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- Ⅰ 東京で路面電車の路線が拡大し、鉄道馬車が消滅した。
- Ⅱ ラジオ放送が開始され、日本放送協会が設立された。
- Ⅲ 電気炊飯器が普及し、家庭にカマドや煙突がなくなった。

(ア) Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ (イ) Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ (ウ) Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ

(エ) Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ (オ) Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ (カ) Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

日本史 $\frac{9}{14}$

第4問 近代・現代の日本と欧米諸国との関係について述べた次の文を読み、下の問い（問1～10）に答えよ。

1600年に豊後に漂着したオランダ船 1 号には、イギリス人のウィリアム＝アダムズとオランダ人のヤン＝ヨーステンが乗っていた。

彼らは、[Ⓐ]徳川家康の外交・貿易の顧問として活躍した人物である。オランダは1609年、イギリスは1613年に幕府から貿易の許可を受け、平戸に商館を開いた。イギリスはその後1623年のアンボイナ事件でオランダとの競争に敗れ、商館を閉鎖して国外に退去した。翌年、スペイン船の来航が禁止となり、1639年にポルトガル船も来航禁止となった。以後、ヨーロッパ諸国の中ではオランダだけが日本との貿易を許され、いわゆる「鎖国」の状態が続くこととなった。

19世紀になると世界情勢は大きく変動した。欧米列強は太平洋に進出し、日本近海にも出没するようになった。イギリス船の行動を契機に、1825年、[Ⓑ]幕府は外国船への対処の仕方を変更する法令を発布した。

1853年にペリーが来航し、翌年幕府は日米和親条約を締結した。イギリスとも同様に日英和親条約を締結した。1858年、安政の五カ国条約が締結されて自由貿易が開始され、イギリスが日本の最大の貿易相手国となった。この時期に来日した[Ⓒ]イギリス公使オールコックやパークスは、天皇を中心とする雄藩連合政権の実現を期待するようになった。その後戊辰戦争を経て、薩長中心の明治新政府が確立した。

明治政府は、五箇条の誓文により開国和親の政策を打ちだした。また、富国強兵のスローガンのもと、近代国家建設のために欧米の技術や文化を積極的に導入した。明治政府の最大の外交課題は、江戸幕府が結んだ不平等条約の改正であった。

条約改正交渉は岩倉使節団の派遣により始まった。アメリカとの交渉は成果が得られなかったが、ヨーロッパでは進んだ制度や文物を視察して帰国した。[Ⓓ]条約改正交渉はその後寺島宗則・井上馨・大隈重信・青木周蔵らの外務卿・外務大臣によって続けられたが、順調には進捗しなかった。しかし1894年、日清戦争開戦の直前に陸奥宗光外相のもとで[Ⓔ]日英通商航海条約の調印に成功した。日本はその後の日清戦争に勝利して下関条約を締結し、続けて1899年に日英通商航海条約など諸外国との条約が発効した。

1914年に第一次世界大戦が勃発した。第2次大隈重信内閣は日英同盟を理由にこれに参戦し、中国におけるドイツの根拠地であった 2 を攻撃して占領した。翌年、日本が中国政府に二十一カ条の要求をつきつけたが、アメリカの反対もあり、一部は撤回された。日本は1916年に第4次日露協約を結んで英米を牽制したが、アメリカが大戦に参戦すると、石井・ランシング協定を締結して、融和につとめた。

第一次世界大戦後、ヴェルサイユ体制のもとで新たな国際秩序が形成された。日本は戦勝国として多大な権益を獲得したが、英米は日本の東アジアでの膨張を抑制しようとした。そのため1921年、米大統領ハーディングの提唱で[Ⓕ]ワシントン会議が開かれ、三つの条約が締結された。

日本史 $\frac{10}{14}$

この結果、アジア・太平洋地域には軍縮と列国の協調を基礎としたワシントン体制とよばれる国際秩序が生まれた。田中義一内閣の時には中国に対する強硬外交が進められたが、^㉔浜口雄幸内閣では協調外交が復活し、1930年イギリスのマクドナルド首相らの提唱で開催されたロンドン海軍軍縮会議で海軍軍縮条約に調印した。

日本経済は第一次世界大戦後、数年ごとに恐慌を経験した。とりわけ、世界恐慌を背景とする昭和恐慌は深刻であった。これを背景に軍部は「満蒙の危機」をさげび、日本は1931年からの満州事変、1937年からの日中戦争と大陸への侵略を続けた。また、ドイツ・イタリアとの枢軸陣営が成立し、東亜新秩序建設を掲げた。

この動きに対してアメリカは日米通商航海条約の廃棄を通告した。日本は軍需資材の輸入をアメリカに依存していたため、この危機を打開しようと南方に資源を求めた。そして1941年、近衛文麿内閣が南部仏印進駐を実行すると、アメリカは対日石油輸出を全面的に禁止した。イギリスもこの動きに同調して日英通商航海条約を廃棄した。これにより、日本は太平洋戦争へと進むことになった。

^㉕日本は、ハワイの真珠湾とほぼ同時に東南アジアの英領を奇襲攻撃した。当初、日本軍は占領地域を拡大したが、やがてアメリカ軍を中心とする連合国軍の攻勢に対し劣勢となり、ポツダム宣言を受諾して降伏した。

日本は事実上アメリカ軍により単独占領され、GHQの指令・勧告に基づき政治が行われた。しかし、民主化と非軍事化を目的とした対日占領政策は、東アジアにおける冷戦構造の深化によって方針転換された。中華人民共和国の建国により、日本は「共産主義の防壁」と位置づけられ、1951年にサンフランシスコ平和条約が締結された。^①この平和条約と同時に日米安全保障条約（安保条約）が締結され、独立後もアメリカ軍は日本に駐留することとなった。

問1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) 1 モリソン 2 青島 (イ) 1 モリソン 2 旅順
(ウ) 1 リーフデ 2 青島 (エ) 1 リーフデ 2 旅順

日本史 $\frac{11}{14}$

問2 下線部㉔について、徳川家康の外交や貿易について述べた文として正しいものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) スペイン領のメキシコとの通商を求め、摂津の商人茶屋四郎次郎を派遣した。
- (イ) 京都・博多・長崎の特定の商人に糸割符仲間をつくらせ、南蛮人の利益独占を排除した。
- (ウ) 蝦夷ヶ島の和人地を支配していた松前氏に対してアイヌとの交易独占権を与えて、大名に列した。
- (エ) 対馬の宗氏に朝鮮との貿易独占を認め、朝鮮からの謝恩使の派遣を要請した。

問3 次の史料は下線部㉕の法令である。史料中の下線部の出来事の名称を何というか、答えよ。

異国船渡来の節取計ひ方、前々より数度仰せ出されこれ有り。をろしや船の儀に付ては、文化の度改めて相触れ候次第も候処、いきりすの船、先年長崎において狼藉に及び、近年は所々え小船にて乗寄せ、薪水食料を乞ひ、去年ニ至り候ては猥ニ上陸致し、或は廻船の米穀、嶋方の野牛等奪ひ取り候段、追々横行の振舞、其上邪宗門勸め入れ候致し方も相聞へ、傍捨て置かれ難き事ニ候。一体いきりすニ限らず、南蛮・西洋の儀は、御制禁邪教の国ニ候間、以来何れの浦方ニおゐても、異国船乗寄せ候を身受け候ハゞ、其所ニ有合せ候人夫を以て、有無に及ばず、一匁ニ打払ひ、逃延び候ハゞ、追船等差出すに及ばず、其分ニ差置き、若し押して上陸致し候ハゞ、搦捕り、又は打留め候ても苦しからず候。……尤も唐・朝鮮・琉球などハ船形人物も相分かるべく候得共、阿蘭陀船は見わけも相成り兼ね申すべく、右等の船万一见損ひ、打誤り候共、御察度はこれ有る間敷候間、二念無く、打払ひを心掛け、匁を失はざる様取計ひ候処、専要の事に候条、油断無く申し付けらるべく候。

問4 下線部㉖について、イギリス公使X・Yについて述べた次のa～dについて、正しいものの組合せを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- X オールコック Y パークス
- a 攘夷運動によって、東禅寺事件で殺された。
 - b 四国艦隊下関砲撃事件を主導した。
 - c 海防の強化を説いた『海国兵談』を著した。
 - d 貿易上で諸外国に有利となる改税約書の調印に成功した。
- (ア) X - a Y - c (イ) X - a Y - d
(ウ) X - b Y - c (エ) X - b Y - d

日本史 $\frac{12}{14}$

問5 下線部㉑について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の(ア)～(カ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- Ⅰ 鹿鳴館を建設するなど欧化政策を展開して、列国の代表と交渉を行った。
- Ⅱ 大津で巡査がロシア皇太子を傷つける事件が起きて、外相を辞任した。
- Ⅲ 大審院への外国人判事の任用を認めていたことで、対外硬派が外相を襲った。

- (ア) Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ (イ) Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ (ウ) Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ
(エ) Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ (オ) Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ (カ) Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

問6 下線部㉒について、この条約では不平等条約の一部が改正された。その内容は何か、答えよ。

問7 下線部㉓について述べた次のX・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- X 四カ国条約が締結され、日英同盟協約の廃棄が同意された。
- Y 九カ国条約が締結され、中国の領土保全と主権尊重を約束した。

- (ア) X 正 Y 正 (イ) X 正 Y 誤
(ウ) X 誤 Y 正 (エ) X 誤 Y 誤

問8 下線部㉔について、このときの内容及び内閣について述べた文として誤っているものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) 浜口雄幸内閣の外務大臣は幣原喜重郎であった。
- (イ) この内閣は、経済政策として金輸出解禁を実施した。
- (ウ) この条約では、日本の主力艦の保有総トン数は英・米の約7割とされた。
- (エ) 軍部や右翼、野党はこの条約締結を統帥権の干犯であると非難した。

問9 下線部㉕について、この英領はどこか、答えよ。

日本史 $\frac{13}{14}$

問10 下線部①に関連して、サンフランシスコ平和条約締結以後の出来事について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の(ア)～(カ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- Ⅰ 第1次石油危機を背景に、米・日・独・英・仏・伊の首脳による先進国首脳会議（サミット）が開催された。
- Ⅱ 日本はアメリカのニクソン大統領訪中をうけて日中共同声明に調印し、日中国交正常化が実現した。
- Ⅲ アメリカの日本防衛義務を明文化した新条約に反対する巨大なデモが、連日国会を取り巻いた。

- (ア) Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ (イ) Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ (ウ) Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ
(エ) Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ (オ) Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ (カ) Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

日本史 $\frac{14}{14}$

第5問 次のテーマについて、それぞれ200字以内で論述せよ。

問1 江戸時代の琉球王国がおかれた外交的な立場を踏まえて、明治政府が行った琉球処分過程について、次の語句を必ず使用して、200字以内で論述せよ。

琉球漂流民殺害事件 琉球藩

問2 池田勇人と佐藤栄作の、それぞれの内閣がとった経済政策と外交政策やその国内的影響について、200字以内で論述せよ。